

映画の秋

11月例会は「ボウリング・フォー・コロンバイン」

秋も深まってくると、長い夜の過ごし方を考えてしまいます。読書も良いのですが、時間を作って映画館のレイトショーに行ったり、気になっていた作品をビデオ鑑賞するには絶好の季節です。今年とはくに秋から冬にかけて気になる多彩な作品のロードショーが多いようです。

1 例会の報告と案内

【前回例会報告】9月10日の例会は、延べ113名の参加を得て、「アカシアの道」を鑑賞しました。痴呆症の母親とその娘との清濁が混じりあった家族の絆を、やや生々しい感情までも描いた作品でした。観終わったあとで、「おかあちゃん大事にしょっ。」という声がありましたが、そんなことも考えたりする作品でした。

【次回例会案内】次回の例会は以下のとおりです。ホワイトハウスから「危険人物」と認定されたジャーナリスト、マイケル・ムーアが、銃社会アメリカを斬る！世界が快哉を叫んだ話題のドキュメンタリー作品。

今回は、各界から高い評価を受けた作品として、アメリカ社会の暴力や戦争といった暗部を考えさせる社会派映画を鑑賞します。

名称 / 第9回例会「ボウリング・フォー・コロンバイン」(120分)

日時 / 2003年11月11日(火)

PM2:00 ~ PM4:20 ~ PM6:40 ~

場所 / 加古川総合文化センター大会議室 (JR東加古川駅から北へ徒歩15分、車は加古川バイパス加古川ランプ北へすぐ)

受付 / 入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を納入し入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

2 例会作品データ

タイトル: 「ボウリング・フォー・コロンバイン」

監督: マイケル・ムーア

出演: マイケル・ムーア / チャールトン・ヘストン / マリン・マンソン / マット・ストーン / ジョージ・W・ブッシュ

データ: 2002年、カナダ、カラー、2時間、35mm

ジャンル: ドキュメンタリー / 社会派

その他: 2002年アトランティック映画祭観客賞、2002年ベルゲン国際映画祭観客賞、2002年サン・セバスチャン国際映画祭観客賞、2002年サン・パウロ国際映画祭観客賞、2002年バンクーバー国際映画祭作品賞、2002年ナショナル・ボード・オブ・レビュー最優秀ドキュメンタリー賞、2002年カンヌ映画祭55周年記念特別賞、第75回アカデミー賞長編ドキュメンタリー部門など受賞

会員の声: コロンバイン高校の生徒が銃乱射事件を起こし、10数人を死亡させた衝撃的な事件の背景を、このドク

ュメンタリー映画は暴く。監督のマイケル・ムーアは、自らがインタビュアーとなって、アメリカ銃社会の、ひいては暴力・力に頼るアメリカの不幸を暴いていく。そのフットワークの軽さで、どこへでも行く。カナダまで行ってアメリカとの違いを確認し、どうすべきか、観客に考える材料を提供してくれる。

監督自らの動きをカメラは捕らえていくという大変主観的なドキュメンタリーなのに、監督の行動力と風貌が、映画の魅力となっている不思議な作品です。(健)

3 最近観た映画から

フリーダ 私がフリーダを見に行ったのは、フリーダ・カーロを演じたサルマ・ハエックが大好きだからです。今年のアカデミー賞でメーキャップ賞が受賞されましたが、37歳には見えない素敵なメーキャップでフリーダの半生を演じていました。フリーダは18歳のときにバス事故にあい、絵画に目覚め自分の感性を信じ突き進んだ女流画家です。彼女が描いた絵は、大事故により肉体的苦痛から生み出されたようで、独創的で生きる力が溢れ出ているようで、見るものを圧倒させます。また、彼女の夫との結婚生活は愛憎に満ちたものでなかなか波乱万丈に生きた女性だと思いました。(香)

名もなきアフリカの地で 戦場から離れた壮大なアフリカの大地を舞台に少女の成長と家族の心の軌跡を描いた傑作です。ドイツ映画なので硬いのですが、ケニア人の料理人オウアの生き方はカッコイイ。(ハインリヒ)

4 新入会者の手続きのお願い

新しく会員になった方で、会費納入の自動払込み手続きを終えていない方は、郵便局で手続きをお願いいたします。必要な用紙や記入方法などは例会の受付でも説明いたします。

5 活動協力をお願い

この会を続けていくために、運営委員会で運営について意見交換したり、発送作業を中心とした事務作業や、例会当日の受付や上映を手伝っていただきたいので、希望者は例会当日スタッフにお声がけください。

また、例会作品の推薦や映画についてのご意見などを郵便、ファックスや電子メールでお寄せいただいたり、この会の活動の趣旨に賛同いただける方に入会を勧めていただきますようお願いいたします。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

http://homepage3.nifty.com/cinemaclub